

一般社団法人 Clan PEONY 津軽 令和8年度第1回定時理事会議事録

1. 招集年月日 令和8年5月7日（木）
2. 開催日時及び場所 令和8年5月26日（火） 15時00分～
青森県弘前市大字下白銀町2番地1 弘前市立観光館1階多目的ホール
3. 理事の数及び出席理事の数並びにその出席方法
理事：16名、うち出席理事：12名（本人出席）
4. 出席理事の氏名
谷川 政人、高樋 憲、倉光 弘昭、工藤 貴弘、棚内 伸治、濱舘 豊光、三上 千春、川嶋 大史、小田桐 亨二、木村 知紀、杉澤 廉晴、佐藤 大介
5. 出席監事の氏名
木村 一、村上 靖浩
6. 議長の氏名
高樋 憲（議案第1号承認後は谷川 政人）
7. 議事録署名人の氏名
谷川 政人、村上 靖浩
8. 議事の経過の要領及び議案別の議決の結果
定刻を迎えた時点で全理事の過半数（理事総数16名中12名）が出席しており、定足数を満たしているため、理事会が成立していることを確認した。定款第36条の規定により、「理事会の議長は理事長がこれにあたる」が、前理事長の櫻田宏氏が4月30日付で辞任しており、理事会開始時点では理事長不在であるため、職務代理者である高樋理事が議長席について議事に入った。（議案第1号が承認され、谷川氏が理事長に就任したため、議案第2号以降は谷川理事長が議長となる。）

【議案審議】

議案第1号 役員の選定について

事務局より、役員の選定について説明し、承認された。

議案第2号 令和8年度定時社員総会の招集及び議決権の行使等について

事務局より、令和8年度定時社員総会の招集及び議決権の行使等について説明し、承認された。

議案第3号 令和7年度事業報告について

事務局より、令和7年度事業報告について説明し、承認された。

議案第4号 令和7年度収支決算について

事務局より、令和7年度収支決算について説明し、承認された。

○高樋理事より質問

事業収益で計上されている約604万円の内訳を知りたい。

→松屋銀座や KUZUHA MALL での物産展の売り上げや、JTBBOKUN を活用した体験型商品の販売の収益である。

20ページ記載の「観光開発プロモーション事業」や、「観光コンテンツ等開発・販売事業」、「収益事業等の会計」の内容について知りたい。

→「観光開発プロモーション事業」については観光開発プロモーション物産展として開催した際の「謹製 津軽たんげ」の売り上げ、「収益事業等の会計」については、県内で販売している同商品の売り上げを計上している。また、「観光コンテンツ等開発・販売事業」については、JTBBOKUN を活用した体験型商品の販売に関する売り上げである。

観光コンベンションの販売に関して、どのくらいの手数料をもらっているのか。
→当法人では商品代金の8%と設定している。

議案第5号 役員の改選について

事務局より、役員の改選について説明し、承認された。

【報告事項】

報告第1号 令和8年度事業計画及び収支予算について

事務局より、令和8年度事業計画及び収支予算について報告した。

○木村理事より質問

各地域に物産協会等があるため、物産に関しては、DMOが担う役割ではないかと思っている。DMOとしてもっと地域を売り込みするために強気の姿勢を見せてほしい。DMOも稼いで行くために、事業内容やコンベンション造成も含め、事務局としての意気込みを聞かせてほしい。
→地域で稼いでいくために、松屋銀座との連携を上手く活用していくこと、また事務局としても現状に満足せず、構成自治体や事業者との意見交換を重ね、協力しながら組織運営していきたい。

○高橋理事より意見

松屋銀座やKUZUHAMA MALLでの催事を見ているが、大変大きなプロモーション効果があ。せっかくの機会なので、松屋などの事業者と役員と意見交換する場を設けて、お互いを理解し合い、新しい商品を作成するなどしてしっかりと活用していく必要がある。

報告第2号 青森県・函館観光キャンペーンについて

事務局より、青森県・函館観光キャンペーンについて報告した。

報告第3号 株式会社松屋との連携協定に基づく取組みについて

事務局より、株式会社松屋との連携協定に基づく取組みについて報告した。

報告第4号 観光入込客数、延べ宿泊者数について

事務局より、観光入込客数、延べ宿泊者数について報告した。

○杉澤理事より意見

市町村単位ではなく、地域全体のデータをしっかりと出してくれるのはすごくありがたい。貴重なデータを活用し、各自自治体の観光の目標と照らし合わせながら議論を展開し、エリアとしての成長を促していければと思う。

【その他】

○高橋理事より意見

関西の方々は青森を通り越して北海道まで行ってしまう。まだまだ関西からの誘客は期待できるため、KUZUHAMA MALLなどの機会を活用し、当法人として関西圏からの誘客に力を入れてほしい。

○木村理事より意見

示してもらったデータは体感として概ね合っていると感じている。今年は国スボなどもあるためまだ希望が持っているが、今のうちに来年以降の対策を立てなければと危機感を感じている。また、昨年の豪雪の影響からレスキューバスの構想を進めていたが、様々な要因から叶わなかった。似たような事態とならないために、これについても今のうちから手を打っておく必要があると感じている。各市町村にもぜひともご協力いただきたい。

○事務局より（報告）

- ・新たに就任した職員の紹介。
- ・令和7年度に獲得した補助金の一覧について説明。

○谷川理事長

その他、理事の皆様から何か意見はないか。

⇒出席者一同

特になし。

議長は、以上で議案全部の審議を終了したので閉会する旨を述べた。
時に16時30分

上記の通り議事の顛末を記録し、議事録署名人が記名押印する。

令和8年5月26日

議事録署名人

理 事 長 谷 川 政 人



監 事 村 上 靖 浩



